

IoTセキュリティシンポジウム 2024 in 東京 開催報告書

主催者 重要生活機器連携セキュリティ協議会

2024年9月18日(水)、BasisPoint Lab. 新橋日比谷口(東京都港区)にて、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)は「IoTセキュリティシンポジウム 2024 in 東京」を開催致しました。本年のシンポジウムでは、「IoT機器におけるサプライチェーンを考えてみよう!」をテーマに、サプライチェーンに対するセキュリティへの取り組み方について、生成AIの技術進歩によるセキュリティリスクや、総務省のサイバーセキュリティ政策、当会が連携するGlobalPlatform様のIoT評価認証技術(SESSIP)の概要など、幅広い内容についてご講演いただきました。また技術講演として、ONWARD SECURITY JAPAN株式会社様、株式会社ベリサーブ様から、最新のセキュリティソリューションについてご紹介いただきました。

シンポジウム後半ではパネルディスカッションを行い、スマートホームに関係するハウスメーカー、住設機器メーカーで最新のサービス・製品開発に取り組む方々、有識者をお迎えし、スマートホームにおけるプライバシーや個人情報の保護について討論をさせていただきました。

1. プログラム

名称	IoTセキュリティシンポジウム 2024 in 東京 ～IoT機器におけるサプライチェーンを考えてみよう!～
主催	一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS)
日時	2024年9月18日(水) 13:00～16:55
会場	BasisPoint Lab. 新橋日比谷口店
実施方式	会場参加およびオンライン
プログラム	[13:00～13:10] 冒頭の挨拶 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事 情報セキュリティ大学院大学 客員教授 荻野 司 [13:10～13:50] 基調講演 『生成AIに関するセキュリティリスクについて』 明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任教授 菊池 浩明 氏 [13:50～14:20] 特別講演 1 『我が国のサイバーセキュリティ政策の現状と動向』 総務省 サイバーセキュリティ統括室 サイバーセキュリティ統括官 山内 智生 氏

[14:20～14:50]

特別講演 2

『GlobalPlatform と IoT 評価認証技術 SESIP』

GlobalPlatform 理事/同 Japan Task Force 主査

庭野 栄一 氏

[14:50～15:00]

休憩

[15:00～15:20]

技術講演 1

『認証機関指定試験所 Onward 社による

EU RED-DA/CRA 近況から技術的実務紹介』

ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社

サイバーセキュリティ技術部 部長

Star TU 氏

[15:20～15:40]

技術講演 2

『なぜ SBOM の管理・運用は難しいのか』

株式会社ベリサーブ

サイバーセキュリティ事業部

平山 昌弘 氏

[15:40～16:50]

パネルディスカッション

テーマ：『IoT 機器におけるサプライチェーンを考えてみよう！

～スマートホームの個人情報保護を題材に～』

[モデレータ]

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事

荻野 司

[パネラー]

・ 明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任教授

菊池 浩明 氏

・ 積水ハウス株式会社 常務執行役員 プラットフォームハウス推進部長

吉田 裕明 氏

・ 株式会社 LIXIL ビジネスイノベーション部 アプリケーションエキスパート主幹

川村 昌雅 氏

・ 旭化成ホームズ株式会社 技術本部 iDX 商品開発部長 リードエキスパート

下川 美代子 氏

・ 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 フェロー /

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社 グローバル戦略本部 部長

伊藤 公祐 氏

[16:50～16:55]

閉会挨拶

2. IoTセキュリティシンポジウム 2024 in 東京の概要



(当日の会場風景)

①冒頭の挨拶

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
情報セキュリティ大学院大学 客員教授
荻野 司



CCDS 代表理事の荻野より、当日のシンポジウムのテーマや開催概要について冒頭挨拶を行い、開会となりました。

②基調講演

『生成 AI に関するセキュリティリスクについて』

明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任教授

菊池 浩明 氏



当日の基調講演として、明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任教授、菊池浩明様より、『生成 AI に関するセキュリティリスクについて』と題してご講演いただきました。

講演の前半では、米国、欧州、日本における AI 活用指針の違いや、AI の画像識別処理に対する攻撃の研究事例として、撮動化による改ざんの影響をご説明いただきました。講演の後半では、AI による合成文書の検出方法の仕組みや精度、電子透かしの削除方法について、最新の研究事例をご紹介いただきました。

③特別講演 1

『我が国のサイバーセキュリティ政策の現状と動向』

総務省 サイバーセキュリティ統括室 サイバーセキュリティ統括官

山内 智生 氏



続いて特別講演として、総務省 サイバーセキュリティ統括室 サイバーセキュリティ統括官、山内智生様より、『サイバーセキュリティ政策について』と題してご講演いただきました。

講演の前半では、サイバー空間やリスクの変化、世界的なサイバー攻撃の現状をご紹介いただくと共に、国内のサイバーセキュリティ戦略として、ISMAPやAI事業者ガイドラインの公開などの対策状況を俯瞰的にご説明いただきました。講演の後半では、総務省における取り組みとして、「NOTICE」や「eシール」、サイバーセキュリティ人材の育成など具体的な施策の状況をご紹介いただきました。

④特別講演 2

『GlobalPlatform と IoT 評価認証技術 SESIP』

GlobalPlatform 理事/同 Japan Task Force 主査

庭野 栄一 氏



続いて GlobalPlatform 理事/同 Japan Task Force 主査の庭野栄一様より、『GlobalPlatform と IoT 評価認証技術 SESIP』と題してご講演いただきました。

講演の前半では、GlobalPlatform の活動について、対象デバイスや技術スコープ（SE: Secure Element、TEE: Trusted Execution Environment）、組織やメンバー構成など、目的や概要をご紹介いただきました。講演の後半では、IoT プラットフォーム評価認証技術「SESIP」について、セキュリティ機能要件や保証要件などの概要や、他の規格とのハーモナイゼーションの状況など、実際の適用を想定したプロセスを具体的にご説明いただきました。

⑤技術講演 1

『認証機関指定試験所 Onward 社による

EU RED-DA/CRA 近況から技術的実務紹介』

ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社

サイバーセキュリティ技術部 部長

Star TU 氏



休憩をはさみ、技術講演 1 として、ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社、サイバーセキュリティ技術部長の Star TU 様より、『認証機関指定試験所 Onward 社による EU RED-DA/CRA 近況から技術的実務紹介』と題してご講演いただきました。

講演の前半では、DEKRA 社及び Onward Security 社による企業戦略やソリューション概要のご紹介をいただきました。講演の後半では、サイバーセキュリティ法規制の世界トレンドとして、欧州が推進するサイバーレジリエンス法、無線設備委任法指令（RED-DA）を例に、整合規格の策定状況や、認証、評価の進め方などの最新情報を Onward Security 社のソリューションも交えてご紹介いただきました。

⑥技術講演 2

『なぜ SBOM の管理・運用は難しいのか』

株式会社ベリサーブ

サイバーセキュリティ事業部

平山 昌弘 氏



続いて技術講演2として、株式会社ベリサーブ サイバーセキュリティ事業部の平山昌弘様より、「なぜSBOMの管理・運用は難しいのか」と題してご講演いただきました。

講演の前半では、ベリサーブ社のご紹介と共に、SBOMを活用のメリットや、米国、欧州、日本における法規制、施策状況の違い、サプライチェーンや脆弱性管理における課題などを分かりやすくご説明いただきました。講演の後半では、同社が提供するソフトウェアサプライチェーン管理パッケージ「SBOM.JP」を例に、その特徴や機能、画面に操作イメージなどをご紹介いただきました。

⑦パネルディスカッション

テーマ：『IoT機器におけるサプライチェーンを考えてみよう！

～スマートホームの個人情報保護を題材に～』



[モデレータ]

重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
荻野 司

[パネラ]

- ・ 明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任教授
菊池 浩明 氏
- ・ 積水ハウス株式会社 常務執行役員 プラットフォームハウス推進部長
吉田 裕明 氏
- ・ 株式会社 LIXIL ビジネスイノベーション部 アプリケーションエキスパート主幹
川村 昌雅 氏
- ・ 旭化成ホームズ株式会社 技術本部 iDX 商品開発部長 リードエキスパート
下川 美代子 氏
- ・ 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 フェロー /
GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社 グローバル戦略本部 部長
伊藤 公祐 氏

シンポジウムの締めくくりとして、『IoT 機器におけるサプライチェーンを考えてみよう！～スマートホームの個人情報保護を題材に～』をテーマに、パネルディスカッションを実施致しました。今回のパネルでは CCDS の代表理事 荻野司がモデレータを務め、パネラにはスマートホームに関係し、最新のサービス・製品開発に取り組むハウスメーカー、住設機器メーカーの皆さま、そして有識者である菊池様、伊藤様ご参加いただきました。

パネルでは、まず各パネリストが考えるスマートホームの現状や今後の展望をご紹介いただき、スマートホームによる個人情報やプライバシー情報活用のセキュリティ課題や、AI を活用したサービスによる功罪などの議論テーマに沿って、パネリストの皆さまと討論を行いました。特に将来的なサービスのあり方や AI の活用については各パネラから様々な問題提起が行われ、非常に活発な討論が行われました。

⑧閉会

上記のプログラムを予定通り完了し、事務局より閉会が伝えられ、シンポジウムは盛況のもと終了しました。

3. 参加者数

事前申込登録者	・会場参加：25名 ・オンライン参加：156名 合計：181名
参加者数（参加率）	・会場参加：25名 ・オンライン参加：186名 合計：211名（116%）

オンライン参加者 156 名に対して、186 名と、申し込み者数より多くの方々に視聴頂きました。

4. 後記

今回のシンポジウムも従来通りオンラインでの視聴が多く、今後のシンポジウムもハイブリッド開催が良いと感じました。一方で、今回は懇親会を企画しておりませんでした。オンライン参加者に有志による懇親会を打診したところ、多くの希望がありました。そのため、急遽事務局でお店を手配し、情報交換会を開催いたしました。登壇者とのフレンドリーな交流ができ、シンポジウムとして盛況のうちに終わることができましたことをご報告いたします。今後は、情報交換会も併せて事前にご用意する方向で考えたいと思います。

以上